2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　大幸薬品株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4574　　ＵＲＬ　https://www.seirogan.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）柴田　高
問合せ先責任者　（役職名）コーポレート本部　経理部長　（氏名）中條　亨　　ＭＡＩＬ　ir@seirogan.co.jp

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,589	8.5	156	△51.7	171	△47.2	169	△74.7
2025年12月期第３四半期	4,229	△7.6	324	△55.3	325	△53.9	669	△6.3

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　169百万円　（△33.6%）　2025年12月期第３四半期　255百万円　（△79.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	3.36	ー
2025年12月期第３四半期	13.33	ー

（注）１.2025年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２.2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	11,408	8,538	74.8
2025年12月期	12,270	8,518	69.4

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　8,538百万円　　2025年12月期　8,518百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	3.30	3.30
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期(予想)				3.50	3.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	12.5	500	8.9	520	7.7	550	△40.4	10.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	50,636,900株	2025年12月期	50,636,900株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	328,825株	2025年12月期	385,713株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	50,289,114株	2025年12月期３Ｑ	50,232,028株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中東情勢や自然災害の影響、継続的な物価の上昇、金融資本市場の変動の影響等に注意する必要があり、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは中期経営計画（2026年-2028年）の初年度として、「医薬品事業への投資集中」等の重点施策を推進してまいりました。医薬品事業においては、市場への安定供給という課題に対し、上期に増産に必要な設備更新及び生産体制の構築を完了し、計画どおり生産能力を引き上げるなど、供給体制の強化に取り組んでまいりました。これにより、2026年９月頃より国内向け「正露丸200粒」の供給を再開いたしました。販売面では、国内外での販売拡大に向け、広告宣伝費や販売促進費を増額し、営業・マーケティング施策を展開いたしました。国内では、若年層の顧客基盤拡大を目指し、2026年７月より新プロモーション「We are ラッパーズ！」を開始し、デジタル動画広告と店頭ＰＯＰ・インバウンド向けの売場づくりを連動させてまいりました。

感染管理事業では、売上規模に応じたコストコントロール等収益性の改善施策に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高につきましては、医薬品事業の増収により、前年同期比8.5%増の4,589百万円となりました。売上総利益につきましては、前年同期比1.8%増の2,404百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に医薬品事業における広告宣伝費や販売促進費の増加等により、前年同期比10.3%増の2,247百万円となりました。

これらの結果、売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加額がこれを上回ったことから、当第３四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比51.7%減の156百万円となりました。また、経常利益は前年同期比47.2%減の171百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、前年同期に投資有価証券売却益347百万円や海外連結子会社清算結了に伴う為替換算調整勘定取崩益140百万円、受取補償金14百万円を特別利益に計上した反動等により、前年同期比74.7%減の169百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

（医薬品事業）

医薬品事業につきましては、国内市場における市場規模が前年同期比で95.6%と低調に推移しました。「正露丸」の供給不足や、競合他社製品の供給再開、インバウンド需要の減少など複合的な要因により全般的に売上は伸び悩みました。この結果、国内向けの医薬品売上高につきましては、前年同期比12.2%減の2,387百万円となりました。一方で、海外向けの医薬品売上高につきましては、順調に供給・出荷を行い、前年同期比73.5%増の1,937百万円となりました。

これらの結果、医薬品事業につきましては、前年同期比12.8%増の4,324百万円の売上高となりました。しかしながら、セグメント利益につきましては、広告宣伝・マーケティング費用の増加により、前年同期比14.6%減の935百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
国内	2,718	2,387
海外	1,116	1,937
合計	3,835	4,324

（感染管理事業）

感染管理事業につきましては、前年同期はインフルエンザ流行の影響により需要が高かったものの、当第３四半期連結累計期間においてはその影響がなく、売上は前年同期比で減少いたしました。しかし、効果的なマーケティング費用の投下等コストコントロールに努め、収益性の改善に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は前年同期比33.1%減の261百万円となりました。また、セグメント損失につきましては、減収による売上総利益の減少があったものの、主に販売費及び一般管理費の減少影響等により、前年同期比で63百万円改善し79百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（感染管理事業）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
国内：一般用	238	106
国内：業務用	124	119
海外	27	35
合計	390	261

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は３百万円、セグメント損失につきましては23百万円となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は11,408百万円（前連結会計年度末比861百万円減）となりました。また、負債合計は2,870百万円（同882百万円減）、純資産合計は8,538百万円（同20百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産948百万円の減少や有形固定資産の増加等による固定資産87百万円の増加、未払金や１年内返済予定の長期借入金の減少等による流動負債901百万円の減少、退職給付に係る負債の増加等による固定負債18百万円の増加、また、主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上等による純資産20百万円の増加であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,256	2,397
電子記録債権	1	0
売掛金	2,449	2,289
有価証券	－	500
商品及び製品	309	550
仕掛品	801	871
原材料及び貯蔵品	508	606
その他	106	268
流動資産合計	8,433	7,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	898	888
機械装置及び運搬具（純額）	545	591
土地	1,675	1,675
建設仮勘定	45	33
その他（純額）	145	213
有形固定資産合計	3,312	3,403
無形固定資産	34	68
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
その他	490	452
投資その他の資産合計	490	453
固定資産合計	3,837	3,924
資産合計	12,270	11,408

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	154	147
買掛金	268	326
１年内返済予定の長期借入金	792	27
未払金	668	503
未払法人税等	15	38
返金負債	60	49
賞与引当金	247	176
転貸損失引当金	11	7
その他	290	332
流動負債合計	2,509	1,608
固定負債		
長期未払金	549	549
転貸損失引当金	4	―
退職給付に係る負債	623	650
資産除去債務	20	20
その他	43	40
固定負債合計	1,242	1,261
負債合計	3,752	2,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
資本剰余金	4,978	4,960
利益剰余金	3,450	3,453
自己株式	△237	△202
株主資本合計	8,200	8,221
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	317	317
その他の包括利益累計額合計	317	317
純資産合計	8,518	8,538
負債純資産合計	12,270	11,408

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,229	4,589
売上原価	1,868	2,185
売上総利益	2,361	2,404
販売費及び一般管理費	2,036	2,247
営業利益	324	156
営業外収益		
受取利息	13	19
受取保険金	12	－
助成金収入	3	1
その他	1	4
営業外収益合計	29	24
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	19	6
その他	5	1
営業外費用合計	29	10
経常利益	325	171
特別利益		
投資有価証券売却益	347	－
受取補償金	14	－
為替換算調整勘定取崩益	140	－
特別利益合計	502	－
特別損失		
固定資産除却損	6	1
減損損失	0	0
特別損失合計	6	1
税金等調整前四半期純利益	821	169
法人税、住民税及び事業税	28	14
法人税等調整額	123	△14
法人税等合計	151	0
四半期純利益	669	169
親会社株主に帰属する四半期純利益	669	169

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	669	169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	―
為替換算調整勘定	△179	0
その他の包括利益合計	△414	0
四半期包括利益	255	169
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	255	169

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,835	390	4	4,229	－	4,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,835	390	4	4,229	－	4,229
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,094	△143	△12	939	△614	324

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「感染管理事業」セグメントにおいて、回収可能性が認められないと判断した固定資産を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において０百万円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,324	261	3	4,589	－	4,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	4,324	261	3	4,589	－	4,589
セグメント利益又はセグメント損失（△）	935	△79	△23	832	△675	156

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「感染管理事業」セグメントにおいて、回収可能性が認められないと判断した固定資産を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において０百万円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年３月27日開催の第80回定時株主総会の決議により、2026年３月30日付で別途積立金7,860百万円を取崩し繰越利益剰余金に振替えております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	193百万円	227百万円